

専門科目

Z・環境都市・建築デザインコース

環境都市・建築デザインコースの学習・教育到達目標と教育課程

○ 教育目的

環境の保全と再生及び安全・安心で持続的発展が可能な社会を実現するため、幅広い視野と豊かな人間性をそなえ、環境都市デザイン並びに建築デザインの基礎とその応用分野に関する知識と技術を身につけ、創造力にあふれた、ものづくりに強い実践的技術者を育成する。

○ 学習・教育到達目標

環境都市・建築デザインコース 学習・教育到達目標		本校 学習・教育到達目標 (本シラバス p. 1～2)
I	人類の福祉、社会的ニーズ、地球環境への配慮、地域の課題等に多角的視野を持ち、豊かな教養を有する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">A 豊かな人間性の涵養</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">B 工学知識・技術の修得</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">C 地域社会への貢献</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">D コミュニケーション能力の習得</div>
II	技術者倫理を学生自身の中に育める。	
III	数理的手法、情報処理技術を十分身に付ける。	
IV	専門工学につながる基礎知識である自然科学の基礎（物理・化学・生命科学）と基礎工学（設計・システム系、情報・論理系、材料・バイオ系、力学系及び社会技術系）の基礎知識を有する。	
V	建設材料学、構造力学、地盤工学、測量学・同実習、RC構造学等およびそれらの応用分野に関する専門知識と技術を問題解決に利用できる。	
	水理学、河川・海岸工学等およびそれらの応用分野に関する専門知識と技術を問題解決に利用できる。	
	水環境工学、環境工学、建築計画、都市・地域計画等の基本的な知識と応用分野の専門知識と技術を身に付け、経済性、信頼性、社会および環境への影響を考慮し問題解決に利用できる。	
	環境都市デザイン並びに建築デザインの技術に関する基礎的実験・測量・製図技術を保有・駆使できる。	
VI	与えられた課題に対して計画的に仕事ができ、期限までに報告書としてまとめることができる。	
VII	他の技術者と協調しながら、自ら創意工夫してものづくりやシステムづくりができる。	
VIII	論理的な記述力、討議発表力、英語力を有し、自主的・継続的に自己を伸ばせる。	

得意とする環境都市デザイン並びに建築デザインを技術的課題に利用できる。

○ カリキュラム編成方針

カリキュラムの編成方針は以下の通りです。各項目で、環境都市・建築デザインコースの学習・教育到達目標との関係を示しています。なお、科目の学年配置と科目間のつながりはカリキュラム表およびカリキュラムの流れ図に示しています。

- 1) 5年間一貫の実践的技術教育： 建設環境工学の教育全体にわたって、基礎から応用へつながりを重視し、基礎理論をもとに実践的方法で展開する技術教育 → 本コース学習・教育到達目標全体の実現
- 2) 専門導入科目： 中学段階から高専教育への円滑な移行と専門分野への興味の喚起 → 本コース学習・教育到達目標 (I) (V) (VIII) の実現
- 3) 工学基礎科目： 専門科目の学習に必要な応用数学、応用物理、プログラミング、建築基礎製図、CAD等の工学基礎教育 → 本学科学習・教育到達目標 (IV) (V) の実現
- 4) 専門基礎科目： 測量学・同実習、建設材料学、構造力学、RC構造学、地盤工学 I、水理学 I、水環境工学、建築計画 I、環境工学、および、それらに関する実験などにおいて基礎力を固める教育 → 本コース学習・教育到達目標 (V) (VI) (VII) の実現
- 5) 専門科目： 上記の専門基礎科目を発展させた応用科目群 (都市・地域計画、都市環境デザイン、耐震工学、都市・建築法規、建設生産施工)、環境都市デザイン履修コース科目群 (地盤工学 II、水理学 II、橋梁構造学、河川・海岸工学、RC構造設計製図、鋼構造設計製図) または建築デザイン履修コース科目群 (建築構造、建築計画 II、建築デザイン製図、建築史、木構造) で構成した専門展開教育 → 本コース学習・教育到達目標 (II) (V) (VI) の実現
- 6) 一般科目： 幅広い視野をもち、国際的なコミュニケーション基礎能力を有する人材、社会人としての倫理と技術者としての責任を自覚できる人材、を養成 → 本コース学習・教育到達目標 (I) (II) (VIII) の実現

○ 教育方法

次の方法で教育を実施します。各項目で、環境都市・建築デザインコースの学習・教育到達目標との関係を示しています。

- 1) 履修学年、履修レベルに応じた懇切丁寧な学習指導 (補充試験、演習指導、補習指導、オフィスアワー等の活用) → 本コース学習・教育到達目標全体と関連
- 2) 実験実習を各学年に十分配置し、座学で学ぶ理論を実地に検証する実践的教育。あわせて発表力、レポート作成能力を育成する。 → 本コース学習・教育到達目標 (V) (VI) (VII) (VIII) と関連
- 3) 卒業研究を重視した教育。各研究室に分かれて、地域に根ざした研究や先端的な研究課題に取り組み、問題を解明し、研究遂行力を養成する教育 → 本コース学習・教育到達目標全体と関連 4) 校外実習や課題学修等で学生が自主的に行う学習の支援 → 本コース学習・教育到達目標 (I) (II) (VII) (VIII) と関連
- 5) 安全教育の徹底。測量学・同実習、建設工学実験、環境都市工学実験など危険と隣り合わせで作業する際の対応などを実験・実習などの授業で教育 → 本コース学習・教育到達目標 (I) (II) (V) と関連
- 6) 情報機器を活用した教育。情報リテラシー、プログラミング、CAD、製図等により、問題解決とコンピュータの活用・コンピュータの仕組みと働き・問題のモデル化・情報技術を習得する情報処理教育 → 本コース学習・教育到達目標 (III) (V) と関連

環境都市・建築デザインコース専門科目担当教員名簿

教員所属： (Z) 環境都市・建築デザインコース、
 (G) 総合科学教育科、(M) 機械システムデザインコース、
 (E) 電気情報工学コース、(C) マテリアル・バイオ工学コース

(所属) 職名	氏名	担当科目	連絡先	
			研究室 (ダイヤルイン)	メールアドレス @hachinohe-ct.ac.jp
(Z) 教授	矢口 淳一	水環境工学Ⅰ, 水環境工学Ⅱ, 建設工学実験, プログラミングⅠ, 環境工学Ⅰ, 環境都市工学実験, 産業システム工学セミナー, 産業システム工学概論Ⅳ(M), 卒業研究	Z棟3階 (27-7305)	yaguchi-z
(Z) 教授	南 将人	建設工学実験, 水理学Ⅱ, 都市・建築応用数理, 環境都市工学実験, 産業システム工学セミナー, 河川・海岸工学, 産業システム工学概論Ⅱ(E), 防災・安全, 卒業研究, 環境都市・建築デザイン演習Ⅳ	Z棟3階 (27-7310)	minami-z
(Z) 教授	藤原 広和	測量学・同実習Ⅰ・Ⅲ, 都市・建築工学演習, 水理学Ⅰ, 環境都市工学実験, 産業システム工学セミナー, 河川・海岸工学, 卒業研究	Z棟3階 (27-7311)	fujiwara-z
(Z) 教授	丸岡 晃	構造力学Ⅰ・Ⅱ, 測量学・同実習Ⅱ, 環境都市工学実験, 数理情報, 産業システム工学セミナー, 都市・建築工学セミナー, 卒業研究	Z棟3階 (27-7304)	maru-z
(Z) 准教授	杉田 尚男	建設工学実験, 構造力学Ⅲ, 環境都市工学実験, 橋梁構造学, 産業システム工学セミナー, プログラミングⅡ, 鋼構造設計製図, 卒業研究	Z棟3階 (27-7313)	sugita-z
(Z) 准教授	清原 雄康	地盤工学Ⅰ・Ⅱ, 建設工学実験, 環境都市工学実験, 都市・建築応用数理, 耐震工学, 産業システム工学セミナー, 卒業研究, 環境都市・建築デザイン演習Ⅳ	専攻科棟3階 (27-7367)	kiyohara-z
(Z) 准教授	馬渡 龍	建築計画Ⅰ・Ⅱ, 建築デザイン製図Ⅰ, 都市・地域計画, 都市環境デザイン, 産業システム工学セミナー, 卒業研究	Z棟3階 (27-7309)	mawatari-z
(Z) 准教授	庭瀬 一仁	建設材料学Ⅰ・Ⅱ, 測量学・同実習Ⅱ, 建設工学実験, RC構造学, RC構造設計製図, 原子力基盤技術概論, 産業システム工学セミナー, 産業システム工学概論Ⅲ(C), 卒業研究	Z棟3階 (27-7307)	niwase-z
(Z) 准教授	金 善旭	建築基礎製図Ⅰ・Ⅱ, 建設工学実験, CAD, 都市環境デザイン, 空間デザイン, 環境工学Ⅱ, 都市環境デザイン, 建設生産施工, 木構造, 卒業研究	Z棟3階 (27-7312)	kim-z
(Z) 助教	今野 大輔	基礎製図, 都市・建築工学演習, 測量学・同実習Ⅰ, 建築基礎製図Ⅰ, 建設工学実験, 建築構造, 都市環境デザイン, 都市・建築法規, 卒業研究, 環境都市・建築デザイン演習Ⅳ	Z棟1階 (27-7316)	dkonno-z
(Z) 助教	李 善太	測量学・同実習Ⅱ, 環境都市工学実験, 産業システム工学セミナー, 河川・海岸工学, 卒業研究	Z棟2階 (27-7287)	leesuntae-z
(G) 准教授	吉田 雅昭	応用数学Ⅱ	ゼミナール棟2階 (27-7277)	yoshida-g
(G) 准教授	水野 俊太郎	応用物理ⅠA, 応用物理ⅠB, 応用物理Ⅲ, 応用物理Ⅳ	ゼミナール棟2階 (27-7279)	mizuno-g
(G) 教授	河村 信治	卒業研究	講義棟4階 (27-7240)	kawamura-g
(G) 助教	和田 和幸	数理演習Ⅱ, 応用数学Ⅰ, 応用数学Ⅲ	ゼミナール棟3階 (27-7252)	wada-g
(M) 准教授	古谷 一幸	産業システム工学概論Ⅰ	M棟5階 (27-7263)	furuya-m
(M) 助教	古川 琢磨	産業システム工学概論Ⅰ	M棟4階 (27-7267)	kogawa-m
(E) 准教授	佐藤 健	産業システム工学概論Ⅱ	総合情報センター (27-7317)	satok-e
(C) 教授	松本 克才	産業システム工学概論Ⅲ	C棟5階 (27-7294)	kmatsu-c

非常勤講師：（Z）環境都市・建築デザインコース

氏名	担当科目	連絡担当者
田中 健太郎	測量学・同実習Ⅰ	藤原 広和
今野 恵喜	測量学・同実習Ⅱ, 環境都市工学実験,	清原 雄康
小藤 一樹	建築基礎製図Ⅱ	馬渡 龍・金 善旭
大塚 陽	建築基礎製図Ⅱ	馬渡 龍・金 善旭
蟻塚 学	建築デザイン製図Ⅰ	馬渡 龍・金 善旭
白鳥 ゆき	建築デザイン製図Ⅰ	馬渡 龍・金 善旭
中村 琢巳	建築史	馬渡 龍・金 善旭
森 太郎	環境工学BⅠ	馬渡 龍・今野 大輔
福士 讓	建築デザイン製図Ⅱ	馬渡 龍・今野 大輔
石橋 敏行	都市・地域計画	藤原 広和
松橋 敏	建設生産施工	藤原 広和
中村 淳一	建設生産施工	藤原 広和
西田 剛市	建設生産施工	藤原 広和
風間 基樹	耐震工学	藤原 広和
鈴木 英宗	環境工学AⅠ	藤原 広和
駒井 裕民	都市・建築工学セミナー	藤原 広和
浅利 洋信	都市・建築工学セミナー	藤原 広和

環境都市・建築デザインコース(平成27・28年度入学生)

本科(1～5学年) 開講科目の流れ図

	本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○)		卒業研究 (○)
CP2	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎) 建設工学実験 (○)	応用数学 (◎) 応用物理 (◎) 測量学・同実習 (◎) プログラミング (◎) 環境都市工学実験 (○) 建築デザイン製図 (○)	プログラミング (◎) 建築デザイン製図 (○) 卒業研究 (○)
CP3		建設材料学 (◎) 構造力学 (◎)	応用物理 (◎) 建設材料学 (◎) 構造力学 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎) 水環境工学 (◎)	CAD (◎) RC構造学 (◎) 構造力学 (◎) 建築構造 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎)	産業システム工学概論 (◎) RC構造設計製図 (◎) 耐震工学 (◎) 建設生産施工 (◎) 河川・海岸工学 (◎)
			建築計画 (◎) 建設工学実験 (◎)	環境工学B (◎) 建築計画 (◎) 環境都市工学実験 (◎) 建築デザイン製図 (○) 建築史 (◎)	環境工学B (◎) 都市・地域計画 (◎) 都市環境デザイン (○) 都市・建築法規 (◎) 建築デザイン製図 (○) 木構造 (◎) 都市・建築工学セミナー (◎) 卒業研究 (○)
	環境都市・建築デザイン演習 (◎)	環境都市・建築デザイン演習 (◎)	環境都市・建築デザイン演習 (◎)	環境都市・建築デザイン演習 (◎) 都市・建築応用数理 (◎)	
CP4		建築基礎製図 (◎)	建築基礎製図 (◎) 建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 建築デザイン製図 (◎)	都市環境デザイン (◎) 鋼構造設計製図 (◎) 建築デザイン製図 (◎) 卒業研究 (○)
CP5		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○)	環境工学A (◎) 橋梁構造学 (◎)	環境工学A (◎) 卒業研究 (◎)
CP6			建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 産業システム工学セミナー (◎)	卒業研究 (○)

- CP1 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。
- CP2 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。
- CP3 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。
- CP4 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。
- CP5 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。
- CP6

環境都市・建築デザインコース(平成29年度入学生)

本科(1~5学年) 開講科目の流れ図

	本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○)		卒業研究 (○)
CP2	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎) 建設工学実験 (○)	応用数学 (◎) 応用物理 (◎) プログラミング (◎) 環境都市工学実験 (○) 建築デザイン製図 (○)	測量学・同実習 (◎) プログラミング (◎) 建築デザイン製図 (○) 卒業研究 (○)
CP3		建設材料学 (◎) 構造力学 (◎)	応用物理 (◎) 建設材料学 (◎) 構造力学 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎) 水環境工学 (◎) 建築計画 (◎) 建設工学実験 (◎)	CAD (◎) RC構造学 (◎) 構造力学 (◎) 建築構造 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎) 水環境工学 (◎) 環境工学B (◎) 建築計画 (◎)	産業システム工学概論 (◎) RC構造設計製図 (◎) 耐震工学 (◎) 建設生産施工 (◎) 河川・海岸工学 (◎) 環境工学B (◎) 都市・地域計画 (◎) 都市環境デザイン (○) 都市・建築法規 (◎) 建築デザイン製図 (○) 木構造 (◎) 都市・建築工学セミナー (◎) 卒業研究 (○)
CP4		建築基礎製図 (◎)	建築基礎製図 (◎) 建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 建築デザイン製図 (◎)	都市環境デザイン (◎) 鋼構造設計製図 (◎) 建築デザイン製図 (◎) 卒業研究 (○)
CP5		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○)	環境工学A (◎) 橋梁構造学 (◎)	環境工学A (◎) 卒業研究 (◎)
CP6			建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 産業システム工学セミナー (◎)	卒業研究 (○)

- CP1 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。
- CP2 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。
- CP3 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。
- CP4 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。
- CP5 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。
- CP6

環境都市・建築デザインコース(平成30・31年度入学生)

本科(1～5学年) 開講科目の流れ図

	本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○)		卒業研究 (○)
CP2	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎) 建設工学実験 (○)	応用数学 (◎) 応用物理 (◎) プログラミング (◎) 環境都市工学実験 (○) 建築デザイン製図 (○)	測量学・同実習 (◎) プログラミング (◎) 建築デザイン製図 (○) 卒業研究 (○)
CP3	都市・建築工学演習(◎)	建設材料学 (◎) 構造力学 (◎)	応用物理 (◎) 建設材料学 (◎) 構造力学 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎) 水環境工学 (◎) 建築計画 (◎) 建設工学実験 (◎)	CAD (◎) RC構造学 (◎) 構造力学 (◎) 建築構造 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎) 水環境工学 (◎) 環境工学B (◎) 建築計画 (◎) 環境都市工学実験 (◎) 建築デザイン製図 (○) 建築史 (◎) 都市・建築応用数理 (◎)	産業システム工学概論 (◎) RC構造設計製図 (◎) 耐震工学 (◎) 建設生産施工 (◎) 河川・海岸工学 (◎) 環境工学B (◎) 都市・地域計画 (◎) 都市環境デザイン (○) 都市・建築法規 (◎) 建築デザイン製図 (○) 木構造 (◎) 卒業研究 (○)
CP4		建築基礎製図 (◎)	建築基礎製図 (◎) 建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 建築デザイン製図 (◎)	都市環境デザイン (◎) 鋼構造設計製図 (◎) 建築デザイン製図 (◎) 卒業研究 (○)
CP5		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○)	環境工学A (◎) 橋梁構造学 (◎)	環境工学A (◎) 卒業研究 (◎)
CP6			建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 産業システム工学セミナー (◎)	卒業研究 (○)

- CP1 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。
- CP2 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。
- CP3 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。
- CP4 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。
- CP5 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。
- CP6

環境都市・建築デザインコース(令和2年度以降入学生)

本科(1~5学年) 開講科目の流れ図					
	本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1		建築製図 (○)	建築製図 (○)		卒業研究 (○)
CP2	測量学・同実習 (◎)	測量学・同実習 (◎)	建設工学実験 I (○)	応用数学 (◎) 応用物理 (◎) 測量学・同実習 (◎) プログラミング (◎) 建設工学実験 (○) 建築デザイン製図(○)	プログラミング (◎) 橋梁工学設計製図 (○) 建設工学実験 (○) 建築デザイン製図 (○) 卒業研究 (○)
CP3	CAD (◎)	建設材料学 (◎) 構造力学 (◎)	建設材料学 (◎) 構造力学 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎)	RC構造学 (◎) 構造力学 (◎) RC構造設計製図 (◎) 地盤工学 (◎) 水理学 (◎) 水環境工学 (◎)	産業システム工学概論 (◎) RC構造設計製図 (◎) 耐震工学 (◎) 建設生産施工 (◎) 河川・海岸工学 (◎) 環境工学 (◎) 都市・建築応用数理 (◎)
		住居計画 (◎)	建設工学実験 (◎) 建築計画 (◎)	建設工学実験 (○) 建築環境工学 都市・建築応用数理 (◎)	建築法規 (◎) 建築デザイン製図 (○) 建築史 (◎) 建築設備 (◎) 卒業研究 (○)
CP4		建築基礎製図 (◎)	建築基礎製図 (◎) 建設工学実験 (○) 測量学・同実習 (◎)	計画数理 (○) 環境都市工学実験 (○)	建設工学実験 (○) 橋梁工学設計製図 (◎) 建築デザイン製図 (◎) 卒業研究 (○) 建設生産施工 (◎)
CP5		建築基礎製図 (○)	建築基礎製図 (○) 建築計画 (◎)	計画数理 (○) 橋梁工学 (◎)	都市・地域計画 (◎) 環境工学 (◎) 測量学・同実習 (◎) 卒業研究 (◎)
CP6			建設工学実験 (○)	環境都市工学実験 (○) 産業システム工学セミナー (◎)	都市・地域計画 (◎) 卒業研究 (○)

- CP1 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。
- CP2 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。
- CP3 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。
- CP4 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。
- CP5 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。
- CP6